

市議会だより

令和7年(2025年)第2回定例会
発行 船橋市議会
編集 広報委員会
発行日 令和7年(2025年)9月12日
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
電話 047-436-3014



乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施や 小学校にエレベーターを設置するための補正予算を審議・可決

『夕焼けこやけ』／撮影者：小池 真緒 様／撮影日：令和6年8月26日／習志野4丁目



第65代議長
おかだ とおる

就任のあいさつ

このたび、第65代議長に就任いたしました。大変光栄に存じますと同時に、職責の重さに身の引き締まる思いです。

議長として、中立公正な議会運営を心掛け、開かれた、市民の皆様信頼される議会を目指してまいります。また、市民の皆様の声を実実に受け止め、市政の課題に対して真摯に議論を重ね、政策立案等を行うことで、より良い船橋市の実現に尽力してまいります。

市民の皆様におかれましては、これからも船橋市議会の活動にご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



第49代副議長
たきぐち かずま
滝口 一馬

同じく、第49代副議長に就任いたしました。

議長を支え、行政に対する監視機能や政策立案などの役割を果たすとともに、執行部との対話を通じて、本市の課題に積極的に取り組んでまいります。また、市民の皆様から信頼され、身近に感じいただける議会づくりを目指してまいります。

市民の皆様におかれましては、船橋市議会に対し、より一層のご理解を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

新議員紹介



おおさわ
大沢 たかのり

平成2年生まれ
会派 市民民主連合

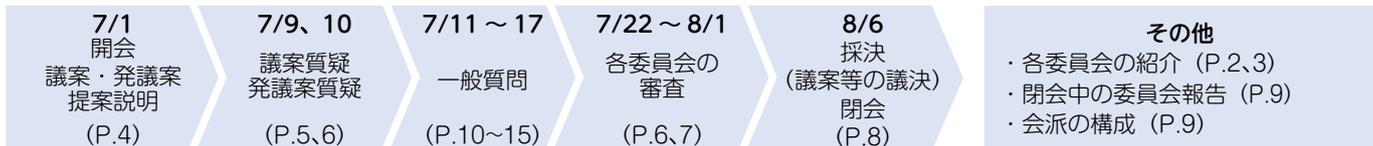
欠員となっていた市議会議員の補欠選挙が6月22日執行の市長選挙と同時に行われ、大沢たかのり氏が当選しました。

— 今定例会の主な流れ —

令和7年第2回定例会は、令和7年7月1日から8月6日までの37日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から19議案、議員から5議案が提出され、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施のための条例案や、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に関する補正予算案など、21議案を可決しました。その他、3件の決算認定議案が提出され、継続審査となりました。

また、定例会初日の議長・副議長選挙において、就任を希望する議員による所信表明及び当該議員に対する質疑を行いました。（所信表明を行った議員については3ページをご覧ください）





各委員会の紹介

第2回定例会において選出された、各常任委員会（総務・健康福祉・市民環境経済・建設・文教・広報・予算決算）、議会運営委員会の委員等をお知らせします。

なお、所属会派および委員会は令和7年8月6日現在となります。

凡例
氏名 <small>○の数字は議席数</small>
所属会派
顔写真

総務委員会

市長公室、企画財政部、総務部、税務部、消防局、会計管理者、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項について審査・調査を行います。

はまの太郎 ③ 無所属	滝口 宏 ⑥ 清風会	葛生 正文 ① 公明党	高橋けんたろう ③ 市民民主連合	今仲きいこ ② 飛翔	◎委員長
佐々木克敏 ⑥ 無所属	かなみつ理恵 ① 日本共産党	鈴木 心一 ③ 公明党	斉藤 誠 ⑦ 市民民主連合	小平 奈緒 ③ 結	○副委員長

健康福祉委員会

健康福祉局、病院局の所管に属する事項について審査・調査を行います。

齋藤 和夫 ③ 飛翔	鈴木 和美 ⑥ 清風会	橋本 和子 ⑤ 公明党	大沢たかのり ① 市民民主連合	藤代清七郎 ③ 結	◎委員長
日色 健人 ⑤ 市政会	岩井 友子 ⑩ 日本共産党	市川たけし ① 結	浦田 秀夫 ⑨ 市民民主連合	草場 智泉 ① 公明党	○副委員長

市民環境経済委員会

市民生活部、環境部、経済部、農業委員会の所管に属する事項について審査・調査を行います。

滝口 一馬 ③ 市政会	金沢 和子 ⑧ 日本共産党	浅野 賢也 ③ 結	中谷あやの ① 市民民主連合	いとう紀子 ③ 結	◎委員長
朝倉 幹晴 ⑥ 無所属	かい さち ① 飛翔	島田たいぞう ⑤ 清風会	松橋 浩嗣 ④ 公明党	池沢みちよ ③ 市民民主連合	○副委員長

建設委員会

建設局の所管に属する事項について審査・調査を行います。

神子そよ子 ② 日本共産党	米原まさと ② 結	上田 美穂 ② 公明党	三橋さぶろう ③ 市民民主連合	大沢ひろゆき ② 飛翔	◎委員長
	七戸 俊治 ⑧ 清風会	鈴木いくお ⑦ 公明党	川井 洋基 ⑥ 市民民主連合	林としのり ② 結	○副委員長

文教委員会

教育委員会の所管に属する事項について審査・調査を行います。



◎委員長



松崎 さち
日本共産党 ③



岡田とおる
市民民主連合 ③



松崎 ゆ次
公明党 ⑦



杉川 浩
清風会 ④



渡辺 賢次
市政会 ⑤

○副委員長



木村 修
公明党 ③



神田 廣栄
市民民主連合 ⑥



青木はるか
結 ①



佐藤つぐみ
飛翔 ②



三宅けいこ
無所属 ③

広報委員会

議会の広報広聴に関する事項について協議を行います。



◎委員長

池沢みちよ

○副委員長

かなみつ理恵

大沢たかのり

中谷あやの

草場 智泉

木村 修

松橋 浩嗣

米原まさこ

市川たけし

鈴木 和美

佐藤つぐみ

渡辺 賢次

予算決算委員会

予算、決算に関する事項について審査・調査を行います。



◎委員長

渡辺 賢次

○副委員長

橋本 和子

※議長を除く全ての議員が、予算決算委員となります。

◎理事長

三橋さぶろう

○副理事長

大沢たかのり

高橋けんたろう

葛生 正文

上田 美穂

鈴木いくお

青木はるか

小平 奈緒

杉川 浩

かい さち

日色 健人

議会運営委員会

本会議の運営を円滑、能率的に行うため、議事の順序や審議方法等について協議する機会です。また議会運営に関係する案件の審査を行います。

◎委員長

浅野 賢也

○副委員長

上田 美穂

三橋さぶろう

高橋けんたろう

齊藤 誠

葛生 正文

橋本 和子

小平 奈緒

杉川 浩

神子そよ子

齊藤 和夫

日色 健人

議会選出役職

千葉県競馬組合議会議員

鈴木 和美

四市複合事務組合議会議員

高橋けんたろう

葛生 正文

小平 奈緒

岩井 友子

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

川井 洋基

監査委員

浦田 秀夫

日色 健人

議長・副議長選挙で所信表明を行った議員

※所信表明を行った順です。

<議長選挙> 佐々木克敏 岡田とおる

<副議長選挙> 滝口 宏 滝口 一馬

録画中継の映像は市議会ウェブサイトでご覧いただけます。
会議の指定から、令和7年第2回定例会を選択してください。➔



議案の概要

今定例会に提出された議案のうち、主な議案をご紹介します。
全ての議案名と議決結果は8ページに掲載しています。
各議案の概要は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

市長提出



議員提出



乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施や

小学校の校舎へのエレベーター設置など

【第1号】令和7年度一般会計補正予算

補正額

13億1,289万円

内訳

総務費	6億9,235万9千円
民生費	99万5千円
衛生費	5億7,548万8千円
土木費	14万8千円
教育費	4,390万円

【主な事業内容】

浜町保育園にて、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を実施

(予算額：99万5千円)

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成長環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず、形での支援を強化することを目的とします。

【事業内容】

普段、保育所等に通っていないこどもを対象に、保護者の就労等の要件を問わず、保育所等への通園が可能となります。令和7年度においては、左記のとおり実施します。

【対象施設】

- ・施設名：浜町保育園
- ・受入れ年齢：0歳6か月～満3歳未満
- ・定員：10名
- ・職員配置：常勤1名、会計年度任用職員3名(全員保育士)
- ・利用方法：利用する曜日等を固定せず柔軟に利用
- ・開所時間：9時～17時
- ・給食：希望者に提供
- ・部屋：専用室独立実施型

新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種を実施

(予算額：5億7548万8千円)

令和6年度より新型コロナウイルス感染症が予防接種法のB類疾病に位置付けられたため、今年度も引き続き同法に基づき定期予防接種として実施するにあたり、必要経費を補正するものです。

【対象者】

- ・65歳以上の方
- ・60歳～64歳で重症化リスクの高い方(※)
- (※)心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の周辺の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活のほとんどが不可能な程度の障害を有する方(身体障害者手帳1級)



海神南小学校にエレベーターを設置

(予算額：4390万円)

教育環境の改善を図るため、海神南小学校の校舎内にエレベーターを設置します。(令和7～8年度 総工事費 1億997万8千円)

(仮称)田喜野井1丁目2号公園の用地を取得

【第2号】令和7年度公共用地先行取得事業特別会計補正予算

(予算額：2億9370万円)

都市公園(仮称：田喜野井1丁目2号公園)用地を取得するため補正するものです。

議案質疑

清風会



鈴木 和美

第1号・第10号

質問 「こども誰でも通園制度」にどのような意義を持ち取り組んでいくのか。

答 地域子育て部長 全てのこどもの育ちの応援と良質な成育環境の整備を目的としており、保育所等に通っていないこどもが新たに施設を利用できる制度であることから、非常に意義がある。

質問 先行実施する浜町保育園で設定した定員10名は適切か。量の見込みの算出はしたのか。

答 地域子育て部長 量の見込みの算出は実施しており、今回整備が可能な施設として浜町保育園を選定した。

質問 通園制度で医療的ケア児を受け入れる際の具体的な手続きを伺う。

答 地域子育て部長 通常の保育所利用における医療的ケア児の入園手続きと同様、制度利用前に看護師等との面談や体験保育の結果を踏まえ、本市の健康保育研究協議会で受け入れの判断を行う。受け入れ可能となった場合、看護師等が児童の主治医より医療的ケアの方法や注意の指示を受け、看護師の応援体制を整えた上で利用いただくこととなる。

今定例会に提出された議案について、質疑したものです。議案質疑は7/9及び8/6に、発議案質疑は7/10に行われました。

日本共産党



松崎 さち

第1号

質問 なぜ今回の補正予算に市民生活のための予算を盛り込まなかったのか。

答 企画財政部長 これまでも物価高騰の影響を受ける市民への支援を実施してきた。国からの交付金なども踏まえ、9月以降の補正予算への計上を検討したい。第1号・第10号

質問 「こども誰でも通園制度」の実施において、保育園内の専用室での独立実施を基本とするよう基準の厳格化をすべき。

答 地域子育て部長 私立保育園等でも実施されると考えられる。様々な方法による実施で預け先を増やすべきと考える。

質問 難しい保育だが、一般型は職員

答 地域子育て部長 事前面談や親子登園等の実施により、保護者側と保育側双方の不安を解消し実施できると考える。第16号

第16号

質問 今回も男性の副市長を選任。ジェンダー平等の観点から議論されたのか。

答 市長 議論はないが、市長を補佐する立場に誰が適任なのか、私が責任をもって選んで提案をさせていただいた。

無所属



はまの 太郎

第16号・第17号

質問 新副市長と再任となる監査委員に対し、就任後に期待することは何か。

答 市長 副市長については財政の面において冷静に将来に向けた議論の素材を出すこと、監査委員については市民に信頼される行政構築のために必要なあるべき姿を明確に指摘することを期待する。

無所属



三宅 けい

認定第3号

質問 官民連携方式の「ウォーターP P P」導入を国が2027年からの交付金の要件としたが、本市への民間活力の導入で市職員の技術力は低下しないのか。

答 下水道部長 導入する範囲や施設を一部に限定し、技術を継承できる環境を残す必要があると考える。

無所属



朝倉 幹晴

認定第2号

質問 私は医療センターは現地建替え

がよいと考えるが、市長案は1000億円超の海老川上流地区への移転建替である。費用半額は病院支出との試算だが、現状経営指標が目標を下回った。対応は、**答** 副病院局長 各種経営指標を改善するために新たな取り組みが必要である。

飛翔



今仲 けい

第1号・第10号

質問 いわゆる「こども誰でも通園制度」について、国が示す基準には「従うべき基準」と「参酌すべき基準」があるが、本市が国に準拠するとした理由は。

答 地域子育て部長 実施場所を保育所に限定していないことや、一時預かり事業(一般型)が上乗せ基準を設けていないことから国に準拠することとした。

質問 本市の条例で設定する認可保育所等の0・1歳児の面積基準は、本制度の3倍の広さを求めている。こども達の命を預かる事業のため、市独自で国基準に上乗せをして安全を確保すべきでは。

答 地域子育て部長 受け入れるこどもの数が減ってしまうおそれがあるため、国基準を準拠する。

質問 10月より実施する浜町保育園は既に待機児童が出ているが、本事業のために専用室と保育士を確保し、定員も減らす。保育士確保が厳しい中、類似する

一時預かり事業との合同実施は有効だと考えるが、制度上可能なのか。

答 地域子育て部長 国から示されておらず、現状判断が出来ない状況である。

市民民主連合



第1号・第10号

質問 「子ども誰でも通園制度」は、10月から浜町保育園1園のみで実施だが、来年度以降はどのように実施していくのか。また、障害児の受け入れや緊急に子どもを預けることへの対応は可能か。

答 地域子育て部長 先行実施するなかで把握した課題やニーズ等を参考に、私立事業者への制度詳細の説明や実施の意向を確認し、来年度以降の拡大について判断していく。また、障害児は個々の事情に合わせて受け入れていくが、急に子どもを預けたい方への対応は難しい。

質問 定額減税補正給付金の補正額が大幅に増加した理由は。

答 税務部長 所得税の処理が年金ごとに分かれ、定額減税額が引ききれない等の予算積算時には把握できなかった事例が多く見られたため、大幅に増加した。

質問 制度見直しに向け国へ提言は。

答 福祉サービス部長 今年度中核市市長会等を通じて国に対し提言したが、実

務負担の大きさを踏まえ、改めて制度の簡素化や直接執行を求める提言を行う。

公明党



第1号

質問 新型コロナウイルス感染症定期予防接種の自己負担額が、昨年度より倍増することで接種率が低下するのではないか。接種勧奨の施策は考えているのか。

答 健康部長 接種動向に影響を与える要素は複数あり、感染状況等も重要な要素になると考える。接種勧奨の施策としては、個別通知で協力医療機関の一覧を送付する等接種の検討に必要な情報を提供する。なお、送付の際は高齢者インフルエンザ定期予防接種の予診票と同封し、相乗効果で接種率向上につなげる。併せて、市広報や市HPで周知をすると共に、協力医療機関にポスター掲示を依頼する。

第12号

質問 無線設備が十数年ぶりに更新されるが、今回導入する機器は現状の機器に比べて改善される箇所はあるのか。

答 消防局長 今回更新する無線設備は、防水性能の向上、無線機器の小型化及び送信出力の向上がなされている。これにより通信距離が延び、より広い範囲での通話が可能となり、より円滑な消防活動につながる。

各委員会の報告

予算決算委員会

議案第1号
令和7年度一般会計補正予算



議案の概要は4ページに掲載。

賛成

◆定額減税補正給付金給付事業は、現場の事務負担が非常に大きく、市が国に対して制度の簡素化等の見直しを求めていることが、今後ますます重要である。乳児等通園支援事業については、本会議や委員会を通じて、論点や課題が挙げられた。これらを踏まえ、今年度の先行実施が、建設的な検証を通じて適切な制度設計に資することを強く期待する。

◆子ども誰でも通園制度について、本補正予算は公立の浜町保育園に専用の部屋と保育士を配置するものであり、十分とは言えないが賛成する。今回の補正予算にも市独自の物価高騰対策がなかった。昨年度の財源調整基金残高は、市が適正規模とする額の2倍近くにもなる見込みであり、市民の命と生活を守る施策を早急に行うべきである。最近の世論調査が示すように、消費税の減税、低所得者への支援が求められている。市は、このことを国に意見するよう要望する。

採決結果 全会一致で可決

総務委員会

議案第6号
市税条例の一部を改正する条例



地方税法の一部改正に伴い、所得控除等について所要の改正を行うものです。

賛成

◆大元の法改正には思うところはあるが、税に関する法律と条例の関係を考えると、改正すべきである。

反対

◆個人市民税について、大学生が勉強に専念できる環境こそが求められているにもかかわらず、今回の法改正は、学業の時間を削り、もっとアルバイト等で稼げと言わんばかりの改定である。たばこ税について、そもそも増税するならば、儲けている大企業や超高額所得者が応分の負担を行い、社会的責任を果たすべきであり、大衆の嗜好品であるたばこの税負担を重くするのは間違っている。

本年度の税制改定は、軍事力の抜本的強化のための安定的な財源確保の観点から見直されたものであり、本市に入るたばこ税は軍備拡張には使われないが、増大する軍事費に充てるための増税には断固反対することから、本議案にも反対する。

採決結果 賛成多数で可決

健康福祉委員会

議案第10号

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例



児童福祉法の一部改正に伴い、所要の定めをするため条例を制定するものです。

賛成

◆国で実施を求めているので賛成ですが、市独自で改善していく余地はあるので、浜町保育園での試験的な運用や、利用者・保護者の声を聞き取った上で、よりよい制度の実現に生かしてほしい。

◆面積基準や施設側の金銭負担、地域偏在などいろいろの問題はあると思うが、利用したいという声も聞いているので、利用者からの意見を吸い上げ、また、利用していない方からの意見も集めて今後に生かすことが重要である。皆さんの意見でこの事業がどう展開していくのか、きちんとデータを取って進めていただくよう期待を込めて、賛成。

反対

◆子育ての孤立化が進んでいる中、家庭で育つ3歳未満児とその親に対する支援は必要だが、今回提案された通園支援の制度は、保育室の面積基準や保育士の配置基準が劣悪であり、市の保育水準を崩すことになるので認められない。

採決結果 賛成多数で可決

市民環境経済委員会

発議案第2号

米価高騰を抑え、国産米の安定供給に国が責任を持つことを求める意見書



賛成

◆米の値段が上がった理由は米が足りていないからであるということが、国に認識してもらったことが非常に大事である。米が足りなくなった原因は、減反・減産を示してきたこと、所得補償を廃止し米農家から所得を奪ったことなどにより農家が減ってしまったこと、農家には米を作るなど言いながらミニマムアクセス米を輸入し続け、農家の心を折ってしまったことであると分析する。本発議案を可決し、本当に農家を助けられる農業政策への改善の一助につなげたい。

◆田の面積は、高度成長初期と比べて30%しか減っておらず、日本の自然環境と食は守られてきた。しかし、担い手がいなくなり田が放棄されていくと、米の安定供給が阻害されると思うので、国の農政を、稲作を縮小していく方向から拡大していく方向に、今のタイミングで転換する必要がある。また、食料安全保障の点からも、対外的な不安を解消する第一歩は米の安定供給だと思うので、稲作はこれ以上減少させるべきではない。

採決結果 賛成少数で否決

建設委員会

議案第11号

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例



船橋市都市計画において新たな地区計画決定に伴い、所要の定めをするものです。

賛成

◆市場1丁目地区の地区計画は、その住民だけではなく、広い地域での憩いの場となる計画であり、グリーンインフラの導入など、防災・減災にも配慮した計画である。しかし、高さ制限の緩和により高層マンションの建設が可能となり、景観や周囲への影響が心配である。これまでに周辺道路が渋滞することが懸念されるため、地域住民への影響について注視することを要望する。また、マンション完成以降の児童生徒の学区内中学校への受入れについて、市は責任を持って推移を見守ることを要望する。

さつき台地区の地区計画は、大手ディベロッパーが計画したまちづくりではなく、地域住民自らがつくった地区計画が都市計画決定にまで至ったものであり、本当に素晴らしい。このような住民自らのまちづくりが増えることを期待する。市場の地区計画決定の内容には懸念も残るが、本議案は都市計画決定に伴う条例の一部改正であり、賛成。

採決結果 全会一致で可決

文教委員会

陳情第24号

ローラースケートリンク増設に関する陳情



採択

◆夏見町2丁目まちかどスポーツ広場への設置が難しいというのは分かるが、陳情者のローラースケートリンクをぜひ設置してほしいという意見を尊重すべきである。スポーツ施設を増やしてほしいという市民の要望が多く、市として抜本的に施設整備に取り組みべきだと考える。

不採択

◆夏見町2丁目まちかどスポーツ広場の用途は既に決まっています。リンクホッケーを行うなら、リースペースしかなく、アスファルト敷きでは不向きであり、コンクリートなどにすると、用途が限られ、物理的に厳しいと判断せざるを得ない。

◆不採択とするが、スケートボードもバスケットも何度も市や議会に要望を上げている経緯があって、今回形になったと思うので、こういった場所を必要とする人がたくさんいるのであれば、ぜひ今後もこういう場所が必要だという声を上げて続けていただきたい。

採決結果 賛成少数で不採択

議案の議決結果										○-賛成 ×-反対			
付託委員会	議案番号	件名	会派					無所属				議決結果	
			市民民主連合	公明党	結風会	日本共産党	飛翔会	市政会	※1	※2	※3		※4
予算決算	議案第1号	令和7年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	令和7年度船橋市公共用地先行取得事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定第1号	決算の認定について(地方卸売市場事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査(注)
	認定第2号	決算の認定について(病院事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査(注)
	認定第3号	決算の認定について(下水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査(注)
総務	議案第3号	船橋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
	議案第4号	一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	職員の育児休業等に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	船橋市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第12号	消防救急デジタル無線設備(移動局)物品供給契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	専決処分の承認を求めることについて(船橋市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第15号	専決処分の承認を求めることについて(船橋市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
健康福祉	議案第8号	船橋市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	船橋市地域活動支援センター条例及び船橋市身体障害者福祉ホーム条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第10号	船橋市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
市民環境経済	発議案第3号	地域医療を守るための財政支援措置及び診療報酬再改定を求める意見書	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	否決
建設	議案第11号	船橋市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
付託省略	議案第16号	副市長選任の同意を求めることについて(林康夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第17号	監査委員選任の同意を求めることについて(栗林紀子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第18号	監査委員選任の同意を求めることについて(日色健人議員)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第19号	副市長選任の同意を求めることについて(柳生正毅氏)	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	同意
	発議案第1号	日本学術会議の独立性・自律性・自主性を脅かす新たな「日本学術会議法」の成立に抗議する決議	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	否決
発議案第4号	教育予算の充実に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
発議案第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

(注)「継続審査」とは、委員会に付託された案件について、当該会期中に審査が終了せず、引き続き審査を行うものです。

所属会派の○×と異なる議員

- ・議案第10号……飛翔の今仲きこ議員は×
- ・発議案第1号……市民民主連合の川井洋基議員は×、飛翔の今仲きこ議員、齊藤和夫議員は○
- ・認定第1号～第3号、議案第19号、発議案第4号及び第5号……無所属の佐々木克敏議員は欠席

陳情の議決結果										○-賛成 ×-反対			
付託委員会	受理番号	件名	会派					無所属				議決結果	
			市民民主連合	公明党	結風会	日本共産党	飛翔会	市政会	※1	※2	※3		※4
総務	陳情第14号	<Universal Town 船橋!>モノレール計画を基軸とした構造改革!に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
健康福祉	陳情第15号	子どもの受動喫煙防止と雇用創出・収益化及び保育組織改革に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
	陳情第16号	新型コロナウイルス(mRNA タイプ)ワクチン接種記録の保管期限延長に関する陳情	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	不採択
	陳情第17号	マイナ保険証の保有の有無にかかわらず、国保加入者全員に資格確認書の発行を求める陳情書	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	不採択
	陳情第18号	あはき・柔整広告ガイドラインの適正かつ積極的な運用を求める陳情	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	不採択
市民環境経済	陳情第19号	農機具類をリース契約して農家へ無償貸与し、耕作地の固定資産税も減免することにに関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	不採択
建設	陳情第20号	船橋市北部地域の街づくりに関する陳情	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	採択送付(注)
	陳情第21号	人口増に対する鉄道・道路のインフラ整備に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	不採択
文教	陳情第22号	「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	陳情第23号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	陳情第24号	ローラースケートリンク増設に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択
	陳情第25号	金杉十字路付近への移動図書館のステーション設置に関する陳情	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	不採択

(注)「採択送付」とは、採択された請願や陳情のうち、執行機関で措置することが適当と認められたものについて、所管する執行機関に送付するものです。

所属会派の○×と異なる議員

- ・陳情第21号……結の米原まさと議員は退席

※1～※4の議員名については、9ページの「会派の構成」をご参照ください。

閉会中の委員会報告



議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会



第2回定例会に関して、会期や審議日程、提出される議案等の審議方法、一般質問の順序等について協議・決定しました。

- 6月26日 会議**
 ・第2回定例会の審議日程等について

総務委員会



都立第五福竜丸展示館、昭和館、しょうけい館（戦傷病者史料館）では、平和行政の取組として市民を派遣した場合の効果等について調査するため、学芸員や担当者からの説明及び語り部の講話を聴き、質疑を行いました。また、本市の契約事務及び令和6年度市民意識調査の結果報告について所管課から説明を受け、質疑を行ったほか、行政視察の振り返りを行いました。

- 4月16日 視察**
 ・都立第五福竜丸展示館（平和学習について）
 ・昭和館（平和学習について）
 ・しょうけい館（平和学習について）
5月16日 会議
 ・本市の契約事務について
 ・令和6年度市民意識調査の結果報告について
 ・行政視察の振り返りについて



都立第五福竜丸展示館視察の様子

健康福祉委員会



保育所等については待機児童数の推移、保育施設整備及び保育士確保に係る取組等に関して、放課後ルームについては入所児童数・待機児童数、職員配置状況、職員確保策及び放課後ルーム整備状況等に関して、それぞれ所管課から説明を受け、質疑を行いました。

- 5月14日 会議**
 ・保育所等及び放課後ルームにおける待機児童の現状について

広報委員会



市議会だより263号の掲載内容及び市内高校への持参について、8月19・20日に実施する小学生議会見学会、中高生議会見学会・意見交換会を周知するポスター・チラシについて、市民等からデザインを募集することにした議会を周知するポスターについて、協議・決定しました。また、市立船橋高等学校への出前講座や議会ウェブサイトにおける写真の活用方法等について、引き続き協議を要する事項として後期の広報委員会に申し送ることを決定しました。

- 3月25日 会議**
 ・広報委員会の協議事項について
 ・令和7年第1回臨時会・第1回定例会市議会だより263号について
 ・来年度の小学生議会見学会、中学生高校生議会見学会・意見交換会について
 ・議会を周知するポスターのデザインについて
 ・議長・副議長の公式行事のウェブサイトへの掲載について
 ・22期後期の広報委員会への申し送り事項について
 ・その他（議会を周知するポスターの掲示について（報告））

無所属 佐はまの 木太敏 敏太郎 ※3 ※1	市議会 渡辺賢一 次馬	飛騨 大沢ひづ るゆみ ちき	日本共産 党 岩井友子 友子	清風会 鈴木和俊 美治	結 い藤市米 と代川原 う清たま 紀七けさ 子郎しと	公明党 鈴木美正 木村修 田和穂 いお子	市民民主 連合 大沢たか のり 三橋さぶ ろう 高橋けん たろう	神川廣栄 田井洋基	齊藤誠夫 岡田秀夫 岡田おる 池沢みち よ	中谷あや の	（令和7年8月6日現在）	会派の構成
朝倉幹晴 こ ※4 ※2	日色健人	今仲和夫 きいこ	金子和子 そよ子	杉口宏浩	浅野賢也 小林平の 野奈緒り 青木はる 木のか	松崎裕次 松橋心 木智一 場泉	齊藤誠夫 岡田秀夫 岡田おる 池沢みち よ	齊藤誠夫 岡田秀夫 岡田おる 池沢みち よ	中谷あや の	中谷あや の		

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、将来の方針等の所信や疑問をただし、あるいは報告や説明を求めるものです。一般質問は、7月11日〜17日に行われました。

企画・財政

市長の政治姿勢
公明党 葛生 正文

質問 この4年間、どのようなまちづくりに取り組んでいくと考えているのか。

答 市長 時代の変化が激しく予測が難しい時だからこそ、市民力と都市力を活かし、頑丈な基盤づくりを意識して将来に向けた取組を進めていく。

ネーミングライツ制度の導入
結 米原 まさと

質問 県実施の歩道橋ネーミングライツにおいて市内の歩道橋で応募が低調だったことを本市で制度導入が難しい理由の一つにあげているが、市川市や浦安市の歩道橋はスポンサーが決定している。本市に特別な事情があるのか。

答 企画財政部長 2市の歩道橋は全て同一の企業による応募で、契約金額は最低契約金額がそれに近い額だった。本市も同じ状況になることが想定される。

質問 本市は包括連携協定等で全国的に有名な企業と協力関係にある。そのような企業にヒアリングや打診はしたか。

答 企画財政部長 平成30年度と令和4年度に広告代理店にヒアリングをした。

質問 千葉市、市川市、習志野市、八千代市、柏市、浦安市、鎌ヶ谷市など多くの

近隣自治体が同制度を導入している。今年度夏見町に開設予定のスケートボード等ができるまちかどスポーツ広場にネーミングライツを募集してみてもいいか。

答 企画財政部長 地権者のご厚意により敷地を無償で借りており、やむを得ない事情で返却する可能性があるため、当該施設への導入はなじまないと考えます。

カスタマーハラスメント対策
結 青木 はるか

質問 市役所におけるカスタマーハラスメントに関する統計や実態の把握をどのように行っているのか。

答 総務部長 現在、職員約6千人に対してアンケート調査を実施している。直近3年間で回答者自身が経験、または同じ職場で見聞したカスタマーハラスメントの内容や場所、発生の頻度、また、必要と考える対策などについて、調査するものとなっている。

質問 窓口や電話応対など、現場で職員が不当な要求や言動を受けた場合、どのようなマニュアルや対応フローが整備されているのか。また、そうした事案が発生した際には、職員の心身のケアを含めた支援体制はどのようなものか。

答 総務部長 実際に脅迫行為など不当要求行為に該当する可能性がある事案については、船橋市不当要求行為等の防止

に関する要綱に基づき、関係する所属で協力しながら対応を行っている。また、事案が発生した際に対応できるよう必要な知識を得るため、千葉県行政対象暴力対応マニュアルの周知や千葉県の開催する講習会への参加、県内の自治体で発生した事例の情報共有を行っている。

質問 職員のプライバシー保護やカスタマーハラスメント対策として「ビジネスネーム(業務上の通称名)」制度化の可能性について、見解を伺う。

答 総務部長 まずは先行自治体の取組とその効果について注視する。

本市の課題
清風会 鈴木 和美

質問 高齢者にやさしいまちづくり、持続可能な町会・自治会へ向けた物価高騰支援やデジタル化に関すること等市長も選挙活動中に耳にされたであろう本市の課題についてどのようにお考えか。

答 市長 本市には幅広く様々な課題がある。前に進むためには他部署等とも関係を連結させ課題に取り組むとともに、これからのまちづくりに取り組んでいく。

消防指令センター
日本共産党 神子 そよ子

質問 出勤時に使用する地図の情報が5年も更新されていない。それで最先端の技術を駆使したシステムと言えるのか。

答 消防局長 更新時期を検討したい。

質問 せめて年に1回は地図情報の更新をすることを約束してもらえないか。

答 市長 確実な救急搬送のため、こういった形がよいか議論して判断したい。

市民生活への支援
日本共産党 岩井 友子

質問 物価や米価の高騰で市民生活はますます苦しくなっているが、市長は今の市民生活の実態をどう認識しているか。財源調整基金を取り崩すことで、米価高騰への支援や学校給食費の完全無償化、国民健康保険料の値下げを実施できる。市は市民生活に対して何をやるのか。

答 市長 お米の支給で52億円の財源調整基金を崩すことは市民の理解が得られない。給食の無償化は国が一律に行うべき。国保料の負担が大ききことは認識しており、国に要望したい。国の交付金を含めて、こういった対策がよいかの補正予算の中で提案させていただく。

職員に対するカスハラ被害
飛翔 齊藤 和夫

質問 被害が発生した後の対応だけでなく、通話の録音、防犯カメラ設置等さらに踏み込んだ防止策が必要では。

答 総務部長 議員から紹介のあった通話録音装置の効果については、導入自治体への聞き取り調査を行っており、有効

な手立てのひとつと考えている。

市長の政治姿勢



市議会 日色 健人

質問 役所の中に、市について市長以上に詳しい人がいなくなった。市長の経歴が豊富なことは市にとって財産でもあるが、組織にとってはリスクもある。こうした状況で市政運営をするにあたって、どのような姿勢で取り組むか。

答 市長 経歴値のある最高責任者に対して職員がものを言いくいところはあろうと思う。意識をして常に聞き出す努力をしなければ、気が付かない部分が出てしまう。副市長、幹部職員、議会のやり取りも意識し丁寧にやっていきたい。

物価高騰対策



市民民主連合 大沢 たかのり

質問 今後の物価高騰対策の実施は。

答 企画財政部長 国・県の動向を踏まえ、実施すべき事業の検討を進める。

質問 保育料等の負担軽減策の実施は。

答 地域子育て部長 令和6年に保育所等の給食費を無償化した実績がある。今後は国主導で行うよう要望する。

選挙の投票率向上の取組み



市民民主連合 中谷 あやの

質問 他市を参考に、例えばふなっしー等のイラストを用いた、カラフルなデザインの投票所来場証を配布できないか。

答 選挙管理委員会事務局長 他の自治体の事例を調査研究していく。

防災

避難所運営委員会への補助金



市民民主連合 神田 廣栄

質問 資料の印刷費等を各町会・自治会が負担しているが、活動を継続していくためにも、補助金を給付できないか。

答 市長公室長 活動を継続し、活性化を促していくための支援は必要だと考えている。自治会連合協議会の意見なども聞きながら検討していく。

生活・安全



公明党 松壽 裕次

町会自治会への支援

質問 集会施設を所有していない中小の町会自治会への活動支援として、施設借上げ費用を補助すべきではないか。

答 市民生活部長 町会自治会に関する補助制度について総合的な見直しを行ったばかりのため、直方には言えないが、他市の例も参考に考えていきたい。

自転車用ヘルメット補助事業



公明党 鈴木 いくお

質問 市は昨年度から購入費補助事業を実施した。昨年度の補助件数は7103件、今年度はすでに1300件を超える申請があるほど市民に喜ばれている。しかし、県の補助金を活用しているため、申請期限が年度末ではなく2月下旬とされている。3月に進学が決まる中学3年生が、

4月から自転車通学をするために3月中旬に自転車用ヘルメットを購入する場合なども対象とできないか。

答 市民生活部長 年度末の申請まで県の補助金の対象とすることができないが、県の担当部署へ申し入れを行っている。

持続可能な町会・自治会へ



清風会 鈴木 和美

質問 物価高騰対策として町会・自治会への補助金の増額はできないか。

答 市民生活部長 町会・自治会の声に耳を傾けるとともに、近隣自治体の動向も参考に何ができるか考えていく。

質問 デジタル化を必要としている町会・自治会へ支援を始めてみては。

答 市民生活部長 紙媒体との二重管理で負担増加を懸念する声や、期待の声など様々な意見がある。それらを受け止めつつ、先進自治体の取組を研究していく。

子育て・健康・福祉

放課後ルームへの看護師配置



無所属 三宅 けいいち

質問 夏休みに放課後ルームを利用する医療的ケア児に対し、看護師を配置できているのか。

答 地域子育て部長 医療的ケア児の受け入れに支障がないよう配置している。

40歳未満に対する健康診査



無所属 はまの 太郎

質問 特定健康診査の対象外である40

歳未満の国民健康保険被保険者に対する健康診査の実施を検討してはどうか。

答 健康部長 他自治体の実施状況を把握し、有効性を含め調査・研究を行いたい。

医療センター建替



市民民主連合 浦田 秀夫

質問 建替基本構想を策定して概ね10年が経過し、当初に比べ事業費の総額が2倍以上に高騰している状況である。令和6年度病院事業会計では開院以来初めての赤字(10億8千万円)になる見込みなども踏まえ、第三次救急医療機関の機能を確保しつつ、その規模や医療体制、全室個室化など現計画の検証・見直しについてどのように考えているか。

答 副病院局長 第三次救急医療機関や地域災害拠点病院などの役割を、将来にわたり担っていくよう、新病院の機能や規模の整理について、これまでの診療状況や将来の予測を踏まえ、市長部局と協議・検討するとともに、船橋市医師会等の意見を十分に頂きながら進めていく。

搾乳できますマーク



公明党 草場 智泉

質問 赤ちゃんスマイルスペースに搾乳できますマークを設置できないか何う。

答 健康福祉局長 搾乳ができる環境を推進するため、施設管理者へ掲示依頼を行うとともに広報等を通じて周知を図る。

手話施策推進法



公明党 上田 美穂

質問 衆参両院共に全会一致で可決成

立した本法に地方公共団体の責務が明示された。本市の今後の取組を伺う。

答 福祉サービス部長 第5次障害者施策計画を法の趣旨を踏まえた内容とするよう努める。本年の障害者週間事業にて手話への関心を高める内容の検討をする。



東京2025デフリンピックを機会に手話への関心を

高齢者でも安心な障害福祉を
公明党 鈴木 心一

質問 高齢の家族が重い障がいをもつ市民から、他市では利用可能な障害福祉サービスである重度訪問介護が、本市では肢体不自由1級でないといふ利用できないという相談があった。障害福祉サービスの支給については、国から個別のケースに応じて適切に支給決定をする旨の通知や助言もある。柔軟な対応のため、本市

の基準を考慮すべきではないか。

答 福祉サービス部長 介護保険サービスでは全て確保できない場合、障害福祉サービスの支給が必要と考える。他市の状況等を参考に基準の見直しを検討する。

骨粗しょう症検診
公明党 橋本 和子

質問 男性でも高齢になるにつれ、骨粗しょう症になる人が増えてくる。検診を受けられるようにすべきでは。

答 健康部長 市医師会骨粗しょう症検診委員会の意見を伺うなど検討する。

質問 検査の結果はいつ知ることができるのか。また、今年度検診が始まることを機に、食事や簡単な体操など日常生活に役立つ情報を発信してほしい。

答 健康部長 結果は原則受診当日に説明を受ける。情報の発信については、検診で使用するパンフレットをHPに掲載するなど、幅広く提供していく。

運動施設へのAED設置
結 米原 まさと

質問 AED未設置の球技等ができる市営施設に対し、積極的な設置の検討を。

答 健康部長 現状の利用状況や近隣のAED設置施設の状況等を踏まえ、設置の可能性について精査していく。

高齢者にやさしいまちづくり
清風会 鈴木 和美

質問 老人クラブの数と会員が減少しているが、どのような支援をしているか。

答 高齢者福祉部長 助成金の交付要件

である会員数を30人以上から20人以上に緩和し、広報で老人クラブを特集する等会員確保に対する支援も行っている。



老人クラブでの交流の様子

老人憩の家
日本共産党 かなみつ 理恵

質問 民設の老人憩の家が減り続けているが、対策は考えているのか。

答 高齢者福祉部長 必要な場所への民設の老人憩の家の設置を検討したい。

医療センター移転・建替え
飛翔 今仲 きいこ

質問 報道では「3年目までには入札と着工をやり遂げたい」「建替え費用を自治体だけで負担するのは限界」とあるが、今後どのように検討を進めるのか。病床規模や建物仕様等見直す考えはあるのか。

答 市長 任期4年の中でやり遂げるために、3年目までに軌道に乗せる心積もりである。建替基本構想策定から概ね10年経過しており、医療も変化している。財政面も含めより良いプランが見いだせるよう検討し、方向性を判断したい。

市の医療提供体制
飛翔 齊藤 和夫

質問 2040年問題についてうかがう。厚労省の資料では、医療と介護の複合ニーズが一層高まる、特に85歳以上の救急搬送と在宅医療需要が大幅に増加する、医療・福祉職の労働力不足がますます深刻化する等の予測が示されている。国では新しい地域医療の構想が進められているが、それを待たずに市としてできることがあるはずである。どのような取り組みが必要と考えるか。

答 健康福祉局長 国が策定している新たな地域医療構想の基本的な考え方は、入院病床だけでなく外来・在宅医療、介護との連携を含む将来の医療提供体制全体に関するものとなっており、在宅医療や介護との連携等については市町村の役割が重要であるとされている。今後とも国・県の動向を注視し、情報収集に努めるとともに、2040年を見据え、市民のニーズに応じていくために必要な対応を具体的に検討していきたい。

環境

ごみ出し・南船橋のごみ問題
市民民主連合 大沢 たかのり

質問 ごみ出しの利便性向上施策は。

答 環境部長 粗大ごみのネット受付・キャッシュレス決済を実施。北部清掃工場のキャッシュレス化は研究していく。

質問 南船橋駅の喫煙・ごみ対策は。

答 環境部長 巡回強化や横断幕設置で啓発中。重点区域指定も含め今後検討。

生物多様性ふなばし戦略
清風会 島田 たいぞう

質問 里地里山等の自然環境保全のため、クラウドファンディングやナショナルトラスト制度の活用を。

答 環境部長 調査研究を進めていく。

ごみ収集業務の委託
日本共産党 神子 そよ子

質問 委託先がどのような熱中症対策を行っているか確認しているか。

答 環境部長 現時点では確認していないが、情報提供と注意喚起を図っている。

経済・産業

買物不便地域の解消
市民民主連合 高橋 けんたろう

質問 採算は取れない中で地域住民のために奮闘する店舗が存在するが、現場の切実な声に対する市の所感を伺う。

答 経済部長 地域経済の担い手であり、地域コミュニティの要である商店会や店舗の皆さんが今後も安心して事業継続

し、地域を支え続けていけるよう、他の自治体の取組を調査研究していく。

質問 市民の生活基盤を行政が支えるという観点から、市が主体となって持続可能な買物支援策を行うべきと考えるが、見解を伺う。

答 福祉サービス部長 地区に配置している生活支援コーディネーターなどと連携し、各地区の実情に即した買物支援策を研究、推進していく。

就労支援事業
公明党 葛生 正文

質問 地域若者サポートステーション等と連携し、就労支援全体の円滑化を図ることはできないか。

答 経済部長 各々の所管で役割に応じた支援に取り組み、連携を図っていく。

農業振興地域整備計画
清風会 島田 たいぞう

質問 後継者育成・新規就農者対策は。

答 経済部長 資金給付事業の開始、栽培方法のアドバイス等サポートしている。

質問 宅地開発を抑制する施策は。

答 経済部長 農用地区域として設定し、開発行為を厳しく制限している。

まちづくり

緑の基本計画
清風会 島田 たいぞう

質問 一人当たりの公園面積の増加と耕地面積縮小への対策は。

都市整備部長 借地公園等の取得や生産緑地の解除に併せて公園を整備する。

北習志野近隣公園の木の
日本共産党 かなみつ 理恵

質問 伐採したままではなく植樹を。

答 都市整備部長 樹木の育成等に適した場所を検討し植樹を実施していく。



北習志野近隣公園の伐採後の様子

金杉川・北谷津川上流の保全
飛翔 今仲 きいこ

質問 海老川上流地区区画整理事業により宅地開発が広がってきている。環境上の重要性をどのように捉えているのか。

答 市長 今年現地を訪れ、非常に豊かな自然が残っていると感じた。市民団体の継続的な保全活動により維持されている環境を子ども達の時代にも引き継いで

いくべきであり、策定中の計画の中で市として取り組む姿勢を示していきたい。



豊かな自然が残る北谷津川上流

住まいは権利!
無所属 三宅 けいこ

質問 電動車いすで一人暮らしをしている方が応募できる市営住宅はあるのか。

答 建築部長 車いすの方を優先する応募区分があり、福祉サービス等を使い日常生活に支障がなければ応募できる。

病院予定地周辺の道路整備
公明党 木村 修

質問 旭町4丁目の民間病院建設に併せて、渋滞対策として都市計画道路3・3・7号線の整備を進めては。

答 道路部長 今年度、旭町工区で用地測量委託の実施を予定しており、着工に

向けて準備を進めている。また、病院建設の開発事業者と協議を進めている。

木下街道の整備

質問 県道だが、西部福祉会館前など市のできる歩道整備をしてはどうか。

答 高齢者福祉部長 会館敷地に一時的な回避スペースの確保等方策を検討する。

旧河川の管理 公明党 松崎 裕次

質問 下水道施設として扱われている旧河川の雑草繁茂対策として、簡易舗装や防草シートの敷設等を検討すべきでは。

答 下水道部長 検討していく。

本市が抱える課題 結 藤代 清七郎

質問 交通問題について、道路整備による交通渋滞の緩和や解消だけでなく、地域全体のモビリティ構造の見直しや再構築も必要だと考えるが見解を伺う。

答 建設局長 今後本市が目指す方向性としては、人口増加を背景とした成長よりも持続可能な活力ある都市をいかに構築していくか、市民の生活の質をいかに向上させていくかという視点が重要という認識である。今後の技術の発展や社会経済情勢の変化等も注視しつつ、車中心の都市構造から持続可能な公共交通やモビリティを中心とした都市構造へと徐々に転換できるように検討していく。

質問 北部地域の活性化について、既存の社会資源や北部地域の特性である農産

物や樹林地を活かした街づくりについて本市の見解を伺う。

答 林副市長 北部地域の魅力や特性を活かす手段として、例えば北部地域で生産された農産物を味わうことのできる機会の創出や販売、共同して情報発信やイベントを行う取り組みなど、各種連携することが考えられる。すでに北部の果樹園等でのような取り組みが行われているところもあり、このような取り組みを広げること、地域の魅力が向上し北部地域の活性化につながるものと考えている。また現在策定中の次期商工業戦略プランでは、北部地域の地域資源を活用した取り組みについても取り入れる検討をしているところである。



高根台団地入口交差点の混雑の様子

教育・文化

公民館の施設・設備の使用料 清風会 島田 たいぞつ

質問 無料とすることは可能か。

答 生涯学習部長 有料はやむを得ない。

市立船橋高等学校の環境整備

質問 グラウンド、食堂等の整備を。

答 管理部長 協議して対応する。

第3次文化振興基本方針

質問 新たな文化ホール等の整備を。

答 生涯学習部長 協議してまいりたい。

自衛隊での中学生職場体験 日本共産党 かなみつ 理恵

質問 まだ判断力が未熟な生徒を、授業の一環として行かせるのは適当なのか。

答 学校教育部長 問題はないと考える。

米農家の安定生産への支援 日本共産党 金沢 和子

質問 米を生産しても経営が赤字になるようでは農業が続けられない。生産した米が農家の採算が取れる適正な価格で売ることが重要だと考える。本市においても適正な価格で船橋市産の米を仕入れ、学校給食で使用することで、農家が安定して生産を続けられることを目標としていただきたい。現在、学校給食で使用している米の量と産地を伺う。

答 学校教育部長 学校給食における米の購入量は令和5年度では493トン

で、主に千葉県産の米を使用している。またそのうち船橋市産の米を16トン使用している。

特別支援学校バスの運行管理 飛翔 今仲 きいこ

質問 到着が見通せず、今か今かとバスを待つことは大変なこと。運行管理システムの導入は保護者だけでなく教員の負担軽減にもつながるが、市の見解は。

答 学校教育部長 保護者、教員双方の利便性等について調査研究していく。

海神中学校校舎建替事業 市政会 白色 健人

質問 入札参加者がなく入札中止となったが、理由についてどのように分析しているか。供用開始時期が遅れることで、学校生活に支障はないか。また、日本建鉄跡地の大規模開発に伴う受け入れに問題はなにか。

答 管理部長 事業者へのヒアリングを行っているが、工期や工事中の仮設通路の使用期間に余裕が無かったことが原因との回答があった。現在の校舎は老朽化が進んでいるが、数年で使用できなくなることはなく、生徒数の推計では既存校舎の教室数で対応可能と考えている。しかしながら新校舎にはエレベーターの設置や特別支援学級の開設も予定していることから、時期によっては対応が必要になる。なお、日本建鉄跡地の開発により増加する中学生の受け入れ先として海神中学校を予定しているが、その場合でも

生徒数のピークは当面先と見込んでおり、受け入れに問題が生じることはない。



建替予定の海神中学校

質問 グラスボール技場の人工芝
無所属 はまの 太郎

質問 一昨年に競技エリアのみ張り替えがされたが、ゴール裏と観覧席前は行われていない。対応が必要ではないか。
答 生涯学習部長 利用者の声を聞きながら、関係部署と協議していく。

質問 私今年に2、3回26公民館を巡回し、議会報告をしながら各地域の皆さんのご意見を伺う「市政懇談会」を開催している。公民館のトイレは未だ和式比率が高いので洋式化を進めるべき。また和

室を利用する正座やあぐらが苦手な人のために、三田公民館和室にある座面の低い椅子や、東部公民館和室入口にある少し休める腰かけを各公民館に設置すべき。
答 生涯学習部長 トイレの洋式化は関係部署と協議し進める。足腰の負担が少ない椅子等が必要に応じて対応する。

質問 本市では年間1400名以上の児童生徒が不登校の状態にある。浦安市や習志野市で設置され本市でも取り組むべきと考えるが、市長の考えを伺う。
答 市長 教育委員会も、いろいろな形で不登校児童生徒への新たな取り組みを考えている。その中で組み入れる時期が来たらやっていくべきと考える。引き続き協議を続けていく。

質問 教員による児童生徒に関する性暴力防止への取り組みや相談体制、対応は。
答 学校教育部長 年度当初に研修を行う等、不祥事根絶に努めている。また、セフハラ相談員等を児童生徒や保護者に案内し相談しやすい体制を整えており、相談後は初期対応マニュアルに基づき速やかに報告するよう指導している。

質問 児童生徒間の性暴力についての対応マニュアル等はあるのか。また日頃どのような教育を行っているのか。
答 学校教育部長 作成していないが、

質問 子どもの性暴力対策
市民民主連合 池沢 みちよ

質問 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律施行令第4条第2号には指定に係る人数規定はないが、考えを伺う。
答 学校教育部長 児童の通行の安全を特に確保する必要があるとして要望があった場合には、関係機関と連携し、状況を確認した上で安全確保に努めていく。

質問 小1の壁対策
市民民主連合 斉藤 誠

質問 都内を中心に朝の僅かな時間に子供たちを預かる取組が進んでいる。小学校で午前7時あるいは7時30分から子供を預かる取組を進めてはどうか。
答 管理部長 現在実施中のアンケート結果や先行自治体の状況も踏まえ、小学生の朝の居場所づくりについて、関係部署と協議し、引き続き検討していく。

質問 楽器によるふるさと納税
楽器の寄附に対し、寄附者へお礼の手紙や演奏会へ招待するといったふるさと納税を実施してはどうか。

質問 学校教育部長 学校の希望に答えられる一つの選択肢となる可能性もあることから、まずは調査研究を進めていく。

質問 通学路の指定基準
市民民主連合 神田 廣栄

質問 小1の壁対策
市民民主連合 斉藤 誠

質問 楽器によるふるさと納税
楽器の寄附に対し、寄附者へお礼の手紙や演奏会へ招待するといったふるさと納税を実施してはどうか。

質問 学校教育部長 学校の希望に答えられる一つの選択肢となる可能性もあることから、まずは調査研究を進めていく。

質問 就学援助制度の認定基準
公明党 草場 智泉

質問 審査に用いる指標や、生活保護基準に対する倍率を見直すことはできないか伺う。
答 学校教育部長 賃金の上昇等を考慮し、令和8年度に向けて準要保護の認定について見直しを含め検討していく。

質問 学校における日本語指導
公明党 上田 美穂

質問 円滑な授業参加や教員の負担軽減のため、日本語のわからない児童生徒へ日本語初期指導教室を開設すべき。
答 学校教育部長 調査研究していく。



楽器によるふるさと納税



永年在職議員表彰

全国市議会議長会の定期総会で以下の議員が永年在職議員として表彰され、その伝達式が行われました。(カッコ内は在職年数)



【前列右から】			【後列右から】				
浅野賢也	滝口一馬	藤代清七郎	齊藤和夫	小平奈緒	七戸俊治	三宅けいこ	松崎さち
議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
(10年)	(10年)	(10年)	(10年)	(10年)	(30年)	(10年)	(10年)

船橋市議会公式LINEアカウント・公式Xをご利用ください

市議会では、よりいっそうの広報活動の充実を図るため、LINE及びXを活用して情報発信を行っています。

【情報発信の内容】

本会議に関すること

定例会の審議日程や、議案質疑・一般質問等の質問者・順序などをお知らせします。

委員会等に関すること

各委員会の開催日程や、委員会で視察を行う場合の日程などをお知らせします。

市議会だよりに関すること

市議会だよりの発行についてお知らせします。

市議会からのお知らせ

その他、市議会によるイベントの開催などについてお知らせします。

【利用方法】

LINE 公式アカウント

ご利用には、「LINE」アプリをスマートフォンなどにインストールし、船橋市議会を「友だち登録」することが必要です。

メニューの「友だち追加」を選択して、以下のコードを読み取ると、友だち追加できます。

アカウント



- 表示名 船橋市議会
- LINE ID @funabashi_gikai



X 公式

パソコンやスマートフォン、携帯電話などインターネットを利用できる環境があれば、だれでも見ることが可能です。

以下のコードを読み取ることで、閲覧ができます。

アカウント



- 表示名 船橋市議会
- ユーザー名 @funabashi_gikai



お知らせ

公職選挙法では、議員等が選挙区内の人に対し、物やお金を贈ることは禁止されています。有権者が求めることも禁止されています。

<例>

- ・町内会の集会、旅行などへの寸志や飲食物の差し入れ
- ・地域の運動会などへの飲食物の差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ

◎令和7年第3回定例会は10月3日(金)まで開会中です。

詳しい日程は、下記へお問い合わせください。また、右下のコードを読み取ると日程を確認できます。「ふなばし市議会だより」に対するご意見・ご感想もお待ちしております。

<問い合わせ> 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 船橋市議会事務局
電話 047-436-3014 FAX 047-436-3013
Eメール gikai-chosa@city.funabashi.lg.jp

